

大崎ものづくり会館 鹿児島大学大崎活性化センター オープン!

町内12社の企業で構成される大崎ものづくりネットワーク振興会の交流拠点施設『大崎ものづくり会館』が、6月24日（金）、本町野方にオープンしました。

同日オープニングセレモニーが開催され、振興会員や関係者80人が集い、テープカットでオープンしました。

また、館内には、鹿児島大学と企業が共同研究や、相互研修を行う『鹿児島大学大崎活性化センター』も同時に開所し、同センタープレートの序幕式も行われました。

会館内には、振興会員企業の事業内容や製品を紹介する企業展示ブースや軽食コーナーと特産品販売コーナーを備えたコミュニケーションスペースが設けられています。

併設された同センターには、資料室や研究室などが設けられており、今後、学習セミナーや共同研究などが行われる予定です。

式典では、上中誠振興会長が

「私たち振興会員は、企業等の情報発信・親睦と情報交換、地域貢献及び人材育成に取り組む拠点整備を計画、要望したところ、皆様のご指導、ご協力のもと、本日、会館をオープンすることができました。また、鹿児島大学大崎活性化センターが当館内に開設されますことは二重の喜びです。」と挨拶。

続いて鹿児島大学吉田浩己学長が挨拶し「この施設がより一層、鹿児島大学と地域の皆さまと密接な交流を推進していく場となり、次世代へ持続可能な社会を築く連携の絆が、この大崎活性化センターから広がることを期待します。」と産学官連携活動の更なる活性化に期待を寄せました。

この会館を拠点に、地域と人と大学が連帯し、新たな地域資源のブランド化を目指すとともに、多くの人々が集う場となることを願います。



大崎ものづくりネットワーク振興会 会長 上中誠 (株)ストーンワークス 代表取締役

大崎ものづくりネットワーク振興会は、日本ハードウェア株式会社、小川社長と株式会社ダイール技研の柳別府社長、それと私共、株式会社ストーンワークス上中の三人が発起人となり本町の『ものづくり』に関係する企業に対し、企業の情報発信、情報交換、地域貢献及び人材育成に取り組む拠点整備を進める協議会への参加の呼びかけを行いました。

それを受け、昨年の六月に我々の提案する趣旨に賛同されました地元企業12社の参加の元、本振興会が設立されました。

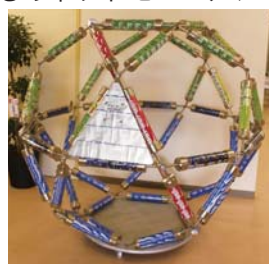
本振興会の重点事項の中でも、新しい視点のもと鹿児島大学・鹿児島県との産学官連携などに重点的に取り組み、新たな産業の育成と製品開発を目指します。

鹿児島大学と充分に連携を図りまして地域の活性化と情報の発信や交流の拠点施設として繁栄するよう会員一同連帯して運営に努めて参ります。

大崎ものづくり ネットワーク振興会会員

- (株)ストーンワークス
- 日本ハードウェア(株)
- (株)ダイール技研
- (株)ジャパンファーム
- (株)都食品
- (有)村田組
- 新平酒造(株)
- 社会福祉法人愛生会
- (有)しろやま農産
- (有)そおりサイクルセンター
- (株)あすばる大崎
- アウトドアネットワーク(株)

ものネットモニュメント



青は大海、緑は大地、赤は太陽と火山を表し、それぞれをつなぐ支点は、人々と自然の調和を表現しています。

このモニュメントは、アルミ缶を再利用したもので『廃棄物』を『価値あるモノ』に変えることを目的に鹿児島大学と振興会員が共同で製作したものです。

大崎ものづくりネットワーク振興会のシンボルであるとともに、今年、2月に国際協力を確認しあったインドネシアデポック市のリサイクル活動における協力と、4年連続ゴミのリサイクル率日本一を達成した本町の象徴でもあります。